

EDIUS[®] Elite/Pro 7

EDIT ANYTHING

リリースノート

Software Version 7.41b28 (2014 年 11 月版)

機能追加

- Panasonic AVC-Intra 4K 422 ファイルの書き出しに対応しました。
- スタートアップに STRATUS 連携版 EDIUS のランチャーを統合しました。*
- STRATUS send で複数の出力先に異なるフォーマットでのファイル出力に対応しました。*
- K2 Bin, 素材に対するアクセス権限の付与に対応しました。*
- K2 4K CMF ファイルの読み込みに対応しました。*

*GV STRATUS 連携版の EDIUS Elite 7 でサポートされる機能です。

更新履歴(不具合修正)

以下の不具合を修正しました。

- 収録中の K2 GXF クリップを読み込むと映像と音声の同期がずれる。
- タイトルアイテムとして登録したビデオクリップをモーションメニューの背景として設定、DVD を作成すると、タイトルアイテムの映像の長さが短くなる。
- プロキシを含まない P2 クリップの転送ができない。
- クイック・シンク・ビデオが使用できない環境で、エクスポーター画面に「ハードウェアエンコードを使用する」オプションが表示される。
- XDCAM EX エクスポーターにて、出力先を JVC SDHC メモリーカードに指定すると、正しいフォルダー構成でメモリーカードに出力されない。
- 24bit の Wave 音声ファイルが再生できない。
- フルスクリーンプレビューのオン・オフを頻繁に繰り返すと EDIUS がフリーズする。

既知の不具合

スタビライザーの解析がバックグラウンドジョブとして処理される

- | | |
|------|-----------------------------------|
| 現象 | スタビライザーの解析が常にバックグラウンドジョブとして処理される。 |
| 回避方法 | なし。 |

プロキシファイルを通常のクリップとして認識する

- | | |
|------|---|
| 現象 | Bin でクリップを選択、「プロキシを作成」にてプロキシを作成した場合、その素材を別プロジェクトで読み込むとプロキシファイルも通常のクリップとして同時に読み込まれる。 |
| 回避方法 | なし。 |

書き出した XAVC S ファイルの再生が途中で停止する

現象 タイムラインを XAVC S ファイルとして出力したものをカメラ等で再生すると、再生が途中で停止することがある。

回避方法 XAVC S エクスポーターの画質設定で標準、もしくは高速を選択する。

制限事項

最近使ったプロジェクトのリストが初期化される

現象 EDIUS 7.32 以前から EDIUS 7.40 以降へアップデートすると、最近使ったプロジェクトのリストが初期化される。

*リストが初期化されるのは、アップデート後の初回起動時のみです。7.40 から 7.41 へアップデートした場合、この制限事項は適用されません。

回避方法 なし。